

科目名	経営工学		英文表記	Industrial Engineering		2016年3月17日			
科目コード	6020					作成			
教員名:	鳥羽 弘康								
技術職員名:									
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態		
全コース			専2	選	学修	2単位	講義		
科目目標 【MCC目標】	次の4項目の習得を学習の目標とする。①工業経営における財務や、会計の基礎となる財務諸表と財務諸表分析を理解できる。②原価計算の基本手順、間接費の部門別配賦法や、製品別配分法を理解できる。③標準原価計算による原価管理を理解できる。④工業経営における需要供給連鎖(サプライチェーン)の管理の重要性と、サプライチェーンの基礎となる在庫管理、安全在庫配置問題の数理モデルを理解できる。 【IV】工学基礎:工学リテラシーの一つとして上記知識を有し、自らの工学の分野に応用できる。								
総合評価	授業は講義形式で進める。定期試験や課題レポートから講義内容に対する理解度を評価する。課題レポートの得点を50%、期末試験を50%として成績を評価し、満点の60%以上の得点で単位を認定する。								
科目達成度目標とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック					
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック		
	20%	① 工業経営における財務や会計の基礎となる財務諸表と財務諸表分析を理解できる。(機械:A-2,A-3,A-5,B-1,情報:A-2,A-3,B-1,B-2, B-3, メデ:A-1,A-2,B-1,B-2, 生物:A-2,B-1, B-2,B-3)	左記項目に関する課題レポートの得点により、正しく理解できているか評価する。	左記項目に関する課題レポートの設問に対して、90%の得点をあげることができる。	左記項目に関する課題レポートの設問に対して、70%の得点をあげることができる。	左記項目に関する課題レポートの設問に対して、60%の得点をあげることができる。			
	20%	② 原価計算の基本手順、間接費の部門別配賦法や製品別配分法を理解できる。(機械:A-2,A-5,B-1,情報:A-2,A-3,B-1,B-2,B-3, メデ:A-1,A-2,B-1,B-2, 生物:A-2,B-1,B-2,B-3)	左記項目に関する課題レポートの得点により、正しく理解できているか評価する。	同上	同上	同上			
	20%	③ 標準原価計算によるコストマネジメントを理解できる。(機械:A-2,A-5,B-1,情報:A-2,A-3,B-1,B-2, B-3, メデ:A-1,A-2, B-1,B-2, 生物:A-2,B-1, B-2,B-3)	同上	同上	同上	同上			
40%	④ 工業経営におけるサプライチェーンマネジメントの重要性と、サプライチェーンの基礎となる在庫管理、安全在庫配置問題の数理モデルを理解できる。(機械:A-2,A-4,A-5,B-1, 情報:A-2,A-3,B-1,B-2,B-3, メデ:A-1,A-2,B-1, 生物:A-2,B-1,B-2)	左記項目に関する期末試験の得点により、正しく理解できているか評価する。	同上	同上	同上				
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	◎			○	JABEEプログラム教育目標	A-2,3,4,5, B-1	A-2,3, B-1,2,3	A-1,2, B-1,2	A-2, B-1,2,3
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(講習履修・実修・実技・実務等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		50	0	50	0	100			
基礎的理解	①②③④	30		30		60			
応用力(実践・専門・融合)	①②③④	20		20		40			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0			
主体的・継続的学修意欲						0			
授業概要、方針、履修上の注意	授業では経営財務や工業簿記の基礎として財務諸表の読み方、原価計算、損益分岐点の求め方を学習する。また、工業経営の要となるサプライチェーンの基礎として基本的な在庫管理の数理モデルと安全在庫配置問題を学習する。授業は講義形式で進める。課題や演習では計算問題を出題し、講義内容に対する理解を深める。								
教科書・教材	教員作成の配布資料をテキストとする。なお、配布資料では不安な学生には、参考文献として、管理会計第2版(中央経済社)、原価管理第6訂版(国元書房)、基礎経営システム工学(共立出版)、企業経営の財務と会計(朝倉書店)、ロジスティクス工学(朝倉書店)を推奨する。								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習) 内容	セル フ チエッ ク
1	企業経営における財務と会計	2	ガイダンス、企業活動における財務と会計		
2	企業会計と財務諸表	2	企業会計の役割と財務諸表の体系、貸借対照表	前回の講義・演習内容	
3	財務諸表	2	損益計算書、包括利益計算書、キャッシュフロー計算書	前回の講義・演習内容	
4	財務諸表と財務諸表分析	2	セグメント情報と、財務諸表分析における横断分析、時系	前回の講義・演習内容	
5	原価計算	2	原価計算の概要と基本手続き	前回の講義・演習内容	
6	個別原価計算	2	原価の費目別計算と部門別計算	前回の講義・演習内容	
7	総合原価計算	2	仕掛品原価と完成品原価の計算	前回の講義・演習内容	
8	短期利益計画	2	損益分岐(CVP)分析	前回の講義・演習内容	
9	予算管理と原価管理	2	予算管理と標準原価計算	前回の講義・演習内容	
10	原価管理と原価企画	2	標準原価計算とVE	前回の講義・演習内容	
11	SCMと在庫の確定的モデル	2	SCMの基礎と、在庫量の確定的モデル		
12	1段階在庫の確率的モデル(1)	2	需要量の確率過程モデルと1段階在庫点の需要量モデル	前回の講義・演習内容	
13	1段階在庫の確率的モデル(2)	2	1段階在庫点からなるサプライチェーンの在庫量の確率的	前回の講義・演習内容	
14	多段階在庫の確率的モデル(1)	2	多段階在庫点からなるサプライチェーンの在庫量の確率	前回の講義・演習内容	
15	多段階在庫の確率的モデル(2)	2	多段階在庫の在庫量と安全在庫水準	前回の講義・演習内容	
期末	期末試験	[2]	11.~15.までの学習内容を試験範囲とする。		
16		2			
17		2			
18		2			
19		2			
20		2			
21		2			
22		2			
23		2			
24		2			
25		2			
26		2			
27		2			
28		2			
29		2			
30		2			
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	課題レポート(9回)			各3時間×9回	
②	演習問題(6回)			各2.5時間×6回	
③					
備考欄					
<p>(JABEE関連共通記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで定める。 <p>(各科目個別記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> この科目の主たる関連科目は産業創造セミナー(本科3年)である。 この科目の自学自習時間は42時間である。 <p>(モデルコアカリキュラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> 対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。 <p>(学位審査基準の要件による分類・適用)</p> <p>科目区分：[関連科目] 工学および周辺技術等に関する科目</p>					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)